



第14回関西大学FDフォーラム・大学教育学会課題研究 「学士課程教育における共通教育の質保証」合同企画イベント 学習成果をどう評価するか？ — 評価課題とルーブリックの開発 —

主催： 関西大学教育開発支援センター
大学教育学会課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」
サブテーマ1「共通教育における学習成果の直接評価」

10/3 Sat 13:30—17:05

関西大学 千里山キャンパス
総合図書館 ラーニング・commons内ワークショップ・エリア

〔プログラム〕 13:30—17:05 総合司会 森 朋子(関西大学)

13:30 - 開会の挨拶 田中俊也(関西大学)
13:35 - ポスターセッション 各フィールドからの成果報告
14:45 - 基調報告 松下佳代(京都大学, 大学教育学会課題研究サブテーマ1責任者)
15:05 - フィールド報告 関西大学, 新潟大学, 山口大学, 名古屋商科大学, 山形大学
15:30 - コメント 濱名 篤(関西国際大学)
16:00 - パネルセッション 司会: 田中俊也
登壇者: 濱名 篤(関西国際大学) 深堀聰子(国立教育政策研究所)
松下佳代(京都大学) 安藤輝次(関西大学)

17:00 - 閉会の挨拶(+案内) 森 朋子

懇親会: 千里山キャンパス・レストランCircolo 17:20—18:50 参加費3,000円(予定)を申し受けます

〔企画趣旨〕

現在、それぞれの大学では教育の質保証の1つの手段として、共通教育のさまざまな正課・準正課プログラムにおいて、評価課題やルーブリック等の評価基準が開発され、学生が何をどう学んでいるか、プログラムは有効に機能しているのかなどが盛んに検討されています。

本イベントでは、大学教育学会課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」にフィールドとして参加している関西大学、新潟大学、山口大学、名古屋商科大学、山形大学での成果を報告し、この領域の研究をリードしておられる方々と共に、多角的な議論を行います。みなさまもぜひ、この議論の輪にご参加ください。

〔申込方法〕

9月28日(月)までに、webサイト <http://www.kansai-u.ac.jp/ctl/> 「お知らせ」内記事→「申込フォーム」(申請・アンケート)からお申込みください。

共催： 関西大学 大学教育再生加速プログラム「21世紀を生き抜く考動人<Lifelong Active Learner>の育成」
山口大学 大学教育再生加速プログラム「共通教育を中心としたアクティブ・ラーニングの推進と学修成果可視化モデルの構築」
JSPS科研「能力形成を促すパフォーマンス評価の開発と拡張」(15H03473)
協賛： 関西大学 津田塾大学 大学間連携共同教育推進事業「(考え、表現し、発信する力)を培うライティング/キャリア支援」